

English follows Japanese

Genesis 創世記 13:1-18 謙虚さを通しての平和

先週、アブラハムも私たち同様ただの人であることを見ました。私たち同様に、彼は常に神に従うことができずに罪を犯しました。彼は神がその移動を指示されることを実際は確認せずにエジプトへ行き、神が見逃すはずもない嘘をつきました。もしそれがアブラハムの人生航路であれば私たちは彼を知ることはなかったでしょう。しかし、それが本当の彼ではなかったのです。途中で様々な躓きはありましたが、彼の人生は彼の信仰を証明しました。今日、アブラムの生涯での次の出来事を見ると、彼の神への信頼を映す利他的行為を知ります。罪人と神によって赦されている聖者の違いは、聖者は罪にとどまらないことです。罪の赦しを経験し人は赦しの場所、神の恵みの場所に戻ります。そして、この聖句の始まりで、アブラハムが祝福の場所である、カナンに戻るのを見ます。13章の1節はこう言って始まります。そこで、アブラムはエジプトを出て、ネゲブに上った。妻と、所有するすべてのものと、ロトも一緒であった。Let's pray.

アブラハムが彼の嘘のためにエジプトを追い出され、すべてを携えて非常に急いで去ることになった覚えていますか。それで、アブラハムはネゲブ砂漠から始まるカナン地方に戻り、そこでこれから起こる問題に対するアブラハムの反応を整えるいくつかの重要な詳細を見ます。2-4節

2.アブラムは家畜と銀と金を非常に豊かに持っていた。

3.彼はネゲブからベテルまで旅を続けて、ベテルとアイの間にある、最初に天幕を張った場所まで来た。

4.そこは、彼が以前に築いた祭壇の場所であった。アブラムはそこで主の御名を呼び求めた。アブラハムは最終的に彼の家族全体を彼のエジプトへの旅が始まったと思われるベテルとアイの間のカナンへ導きます。そして、この場所に於いてこの出来事でのアブラムの反応と先週の学びの彼のエジプトでの嘘と欺きとの鍵となる違いを見ます。アブラムは祈りました。彼は神の御計画と彼の御心を求めるために神を呼び求めました。事実、ここで見るアブラムの反応全体は祈りに浸っています。何が起こったのかの詳細に行く前に、彼がまず神の御前に行き、その出来事の終わりにもそうして、神を再び礼拝するのを見ます。

ピリピ人への手紙 4章6節で神の御言葉は言います。

"何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。"わたしたちが絶えず神に全てを祈り、委ねていれば、あなたの人生に何が訪れようともすべては神の御手の内に在ること確信できます。神が与えてくださる確信と自分の思いではなく、神の御心を求める必要を知る謙虚さとでわたしたちが難しい決断や厳しい状況に向き合う時に備えてくれます。ここにもう一つ特筆すべき重要な詳細があります。アブラハムが裕福だったことです。とても金持ちでした。彼は多くの水を飲み、大量の牧草を消費するたくさんの家畜を所有していました。そして、聖句を進むと彼と共に旅している彼の甥、ロトもやはり裕福で多くの羊と牛と牧者を所有していました。

5-7節を見てください。5.アブラムと一緒に来たロトも、羊の群れや牛の群れ、天幕を所有していた。

6.その地は、彼らが一緒に住むのに十分ではなかった。所有するものが多すぎて、一緒に住めなかったのである。

7.そのため、争いが、アブラムの家畜の牧者たちと、ロトの家畜の牧者たちの間に起こった。そのころ、その地にはカナン人とペリジ人が住んでいた。その問題です。アブラムは彼に富をもたらす多くの家畜があり、多くの水と放牧するための広大な土地が必要であり、彼の甥も同じ状況でした。そして、彼らの羊や牛だけではなく、もうその土地で営んでいる先住民のカナン人とペリジ人もいたのです。アブラムとロトのために働いている人たちはウマが合わず、土地の広さが全使用人と家畜には不十分であったことに加えて彼らは何ひとつとして一致できませんでした。もちろん、どの家族にも意見の相違や言い争いはありますが、これは、全く手がつけられませんでした。アブラムは心底から平和を望む人でした。ある意味、それが彼の妻サライに彼と結婚している事に関して嘘をつくように仕向けたのでした。そうする事によって、状況がより楽に、より平和的になると彼は思ったのです。それが8-9節のこの状況で見る彼の反応です。ア

ブラムはロトに言った。「私とあなたの間、また私の牧者たちとあなたの牧者たちの間に、争いがないようにしよう。私たちは親類同士なのだから。

9.全地はあなたの前にはないか。私から別れて行って欲しくないか。あなたが左なら、私は右に行こう。あなたが右なら、私は左に行こう。」

彼の平和を保つ希望が彼の甥ロトにどの土地でも望む方を取るように、そしてアブラムは反対の方角に行くと言う申し出をさせました。これが彼の無欲の頂点でした。信仰によって生きる男性も女性も謙虚さを表します。それをアブラムに見る事ができます。アブラムにはロトに彼の群れと牧者を連れてアブラムの元から去れと要求する権利がありました。彼は彼の甥よりも年長であり、その文化では、年長者を敬うことが要求されました。ロトはこの新しい土地への旅を先導したアブラムの好意の受益者でした。神はロトではなくアブラムをこの新しい土地に召されたのでした。正確に言うと実はこの時点では、この土地は彼らどちらの所有でもありませんでした。ですから、聖書はこの土地に他の住民がいる事を指摘しているのです。やがてヨシュアの前、アブラムの子孫はこの土地を住民が彼らの罪のために神の裁きを受けた後に征服します。イスラエルの民は申命記9章5節でこう告げられています。

"あなたが彼らの地を所有することができるのは、あなたが正しいからではなく、またあなたの心が真っ直ぐだからでもない。これらの国々の邪悪さのゆえに、あなたの神、主があなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。また主があなたの父祖、アブラム、イサク、ヤコブになさった誓いを果たすためである。

ここでアブラムの方は謙虚な振る舞いをしますが、ロトはどう反応したでしょうか。10-11節を読みましょう。10.ロトが目を上げてヨルダンの低地全体を見渡すと、主がソドムとゴモラを滅ぼされる前であったので、その地はツォアルに至るまで、主の園のように、またエジプトの地のように、どこもよく潤っていた。

11 ロトは、自分のためにヨルダンの低地全体を選んだ。そしてロトは東へ移動した。こうして彼らは互いに別れた。アブラムの利他的な行為はロトの最も利己的な反応に会いました。ロトはその地域の土地を見渡し、もちろん最高の部分に気づきました。ツォアルの土地がどこにあるのかはあまりはっきりしませんがヨルダン川の東側のあたりのようで、その時は豊富な水量と豊作をもたらす土地にとっても青々とした放牧地であるように見えました。スクリーンの地図上で当時どんな所であったか少し想像できるでしょう。ロトは彼の叔父に第一選択肢を差し出すことも、最高の土地を折半したりする提案もせずただ立ち去りそこへ移りました。さて、他にもロトの決定する心理状態を理解するための重要な詳細があります。彼の叔父のアブラムと違いロトの決定は信仰を基にしたものではありません。彼の判断は彼自身を豊かにするための思いによるものであり、結局、大惨事で終わる結果となります。12と13節ですぐにそのヒントを得ます。12.アブラムはカナンに住んだ。一方、ロトは低地の町々に住み、ソドムに天幕を移した。

13.ところが、ソドムの人々は邪悪で、主に対して甚だしく罪深い者たちであった。アブラムはカナンへの信仰の旅路を神の御計画に従い続ける彼の道を行きました。しかし、ロトはこれ以上近づけないほどもっとも罪にまみれた場所であるソドムの地域に移動しました。そこは彼の利己心が向かわせたところです。そうです。彼には放牧地がありました。彼の使用人や家畜のための十分な場所がありました。しかし、彼はそれを神との旅を引き換えに手に入れました。彼がやがて移り住むソドムの街が神によって滅ぼされるとき明らかになります。身勝手は信仰の旅の正反対です。信仰によって生きることはアブラムが彼の現在、彼の将来、彼の旅路、彼の家計を支える放牧地さえ神に信頼して委ねることです。利己主義は判断を自己の利害と自己の知恵と力を基に決定します。箴言3章5~7節はわたしたち自身の悟りと知恵は神の私たちの生涯のための最良の御計画に反すると説明しています。聖書は語ります。

5.心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

6.あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

7.自分を知恵のある者と考えるな。主を恐れ、悪から遠ざかれ。 ロトはなぜこの聖書の真理が重要か示してくれます。彼は自分の悟りに頼り、神の御計画を知ろうとせず、彼自身の人の知恵に頼り悪から離れる代わりに近づきました。これが身勝手な道です。ですから、わたしたちは神の御計画を求め、謙虚に私たちの生涯、私たちの職業、私たちの家族のための神の道を求めるべきなのです。これは救いで始まります。御自身の栄光のために当然のこととして完全に利己的な神は御自身の独り子イエス・キリストを遣わすと言う歴史上最も利他的な行為をなさいました。完全なる神であるイエスは彼が神であるが故の正当な権限の一部を完全に人となるため手放して、私たちのために十字架の上で最悪の死を経験されました。謙虚さと利他心の頂点はイエス御自身です。 **ピリピ人への手紙 2章 5～8節**

5.キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

6.キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

7.ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

8.自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

神として最も高位で賛美されるべきお方、イエス・キリストは進んで私たちの代わりに死ぬために身を低くされました。さて、アブラハムはこの詳細を知る由もありませんでしたが、彼は彼の命、肉体的と永遠の両方とも完全に未来のメシアに懸かっていることを知っていました。そして、彼はその信仰を彼の神に従順に従うことによって全うしました。そして、神に仕える彼の謙虚さは彼に何を得させたのでしょうか。14-18節を見てください。14.ロトがアブラムから別れて行った後、主はアブラムに言われた。「さあ、目を上げて、あなたがいるその場所から北、南、東、西を見渡しなさい。

15.わたしは、あなたが見渡しているこの地をすべて、あなたに、そしてあなたの子孫に永久に与えるからだ。

16.わたしは、あなたの子孫を地のちりのように増やす。もし人が、地のちりを数えることができるなら、あなたの子孫も数えることができる。

17.立って、この地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに与えるのだから。」

18.そこで、アブラムは天幕を移して、ヘブロンにあるマムシの榿の木のそばに来て住んだ。そして、そこに主のための祭壇を築いた。

神はアブラハムにその土地のすべてを、彼がロトに平和を保つために彼に譲ることを同意した分も含めて、彼の子孫に永久に与えると告げました。神はアブラムに彼の契約を再確認して、再び大いなる国民の約束を見ます。この子供のいない人に多くの子孫を約束したのです。そして、今一度アブラムが神が約束された土地を歩き回り、最後に彼が新たに住み始める場所で礼拝した。アブラムのこのロトとの出来事での経験がどのように今日の私たちの神との信仰の旅路に当てはまるのでしょうか。あなたの信仰を全うすることは神があなたに平和と一致のためにあなた自身が付け込まれて利用されることを望まれることでしょうか。わたしはこのアブラムのような話は時として神の御計画であり、彼の目的を果たすためのものと思います。イエスが私たちが私たちを利用する人々をどのように扱うべきかおっしゃっていることと同じ考え方です。 **マタイの福音書 5章 38～41節**

38.『目には目を、歯には歯を』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。

39.しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つ者には左の頬も向けなさい。

40.あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着も取らせなさい。

41.あなたに一ミリオン行くように強いる者がいれば、一緒に二ミリオン行きなさい。事実、この聖句が含まれる山上の垂訓の全体が人間的な正義の概念を逆転させ、私たちの自然感覚の公平感、善悪とは全く違う生きるための天の道徳を与えてくれます。あなた自身のことを忘れてあなたの救い主に集中することができた時だけそのように生きることができます。あなたが創造主をあなたの状況によってではなく、信仰によって見つめる時。あなたの人生のすべての部分であなたの信仰が影響を及ぼした時のみ。あなたがすべてのあなたの考えとあなたの決心をあなたが通

った大学や、あなたの職業や、あなたの文化の背景ではなく、神とその御言葉に定められた時。神があなたのすべてであり、あなたがあなた自身ではなく神にのみ仕える時、あなたは信仰の人生を全うできるでしょう。Let's pray.

Genesis 13:1-18 Peace through humility

Last week, we saw that Abraham was human just like us. He failed to follow God all the time and sinned, just like we do. He went to Egypt, without really seeing God directing that move and then told a lie that God made sure was found out. If that was the course of life for Abraham, then we would not know anything more about him. But, that was not who he was. His life demonstrated his faith, even though there were failures along the way. As we see this next episode in Abram's life today, we see his faith in unselfish actions that reflect his trust in God. The difference between a sinner and a Saint who has been forgiven by God is that the Saint does not stay in sin. He or she will return to the place of God's blessing, the place of forgiveness. And so, as this passage opens, we see Abraham returning to Canaan, the place of blessing. Verse 1 of chapter 13 opens by telling us: **13 So Abram went up from Egypt, he and his wife and all that he had, and Lot with him, into the Negeb.** Let's pray.

Remember that Abraham was kicked out of Egypt for his lie and ended up having to leave with everything very quickly. So, Abraham comes back into the area of Canaan that begins in the Negev desert, and then we see some important details that set up Abraham's response to the problem that will happen. Verses 2-4 say, **²Now Abram was very rich in livestock, in silver, and in gold. ³And he journeyed on from the Negeb as far as Bethel to the place where his tent had been at the beginning, between Bethel and Ai, ⁴to the place where he had made an altar at the first. And there Abram called upon the name of the Lord.** Abraham ultimately leads his entire family back to where his journey to Egypt seems to have started from in Canaan, between Bethel and Ai. And it is at that location where we see the key difference between Abram's response in this episode, and what we saw with his lying and deceit in Egypt in the last passage. Abram prayed. He called on God in order to know God's plan and to seek his will. In fact, Abram's entire response that we will see here is bathed in prayer. Before we even get into the details of what happened, we see him go to God and at the end of the episode, we see him again worshipping.

In [Philippians 4:6](#), God's Word says, **6 do not be anxious about anything, but in everything by prayer and supplication with thanksgiving let your requests be made known to God.** When we keep an active line of communication with God by taking everything to him in prayer, then we can know that he is in control no matter what comes into your life. It prepares us to face difficult decisions and tough circumstances with the confidence that God provides and the humility that we need to seek God's will and not our own.

There is one more detail given here that it important to note. Abraham was rich. Very rich. And, he had a lot of livestock that needed to eat and drink a lot of water and vegetation. And as the passage continues, we find out that his nephew who was traveling with him, Lot, was also rich with flocks and herds and people. Look at verses 5-9. **⁵And Lot, who went with Abram, also had flocks and herds and tents, ⁶so that the land could not support both of them dwelling together; for their possessions were so great that they could not dwell together, ⁷and there was strife between the herdsmen of Abram's livestock and the herdsmen of Lot's livestock. At that time the Canaanites and the Perizzites were dwelling in the land.** So, now we get to the problem. Abram has a lot of animals that bring him wealth, but also need a lot of space to feed and water and his nephew has the same situation. And, we are told that it is not just their flocks and herds

that need to use the space, but there were already native inhabitants of the land called Canaanites and Perizzites using it.

The folks who worked for Abram and Lot could not get along together, and in addition to the problem of not enough land for both of their families and all their employees and their animals, they could not agree on anything. Now, of course, there are always different disagreements and arguments in families, but this one was out of control. And Abram was at his core a man who wanted peace. In a way, it was what led him to ask his wife Sarai to lie about being married to him – because it would make the situation easier, more peaceful, in his mind. That is what we see in his response to this situation in verses 8-9. **⁸Then Abram said to Lot, “Let there be no strife between you and me, and between your herdsmen and my herdsmen, for we are kinsmen.^[a] ⁹Is not the whole land before you? Separate yourself from me. If you take the left hand, then I will go to the right, or if you take the right hand, then I will go to the left.”**

His desire to keep the peace leads to his offer to his nephew Lot to take whatever land Lot wanted and Abram would go the opposite direction. This was the height of selflessness on his part. **A man – or a woman – of faith will demonstrate humility**, and that is what we see in Abram. By every right Abram should just demand that Lot take his herds and people and move away from Abram. He is older than his Nephew, and in that culture, age demanded respect, just like here. Lot was a beneficiary of Abraham’s good will as the one who led the trip to this new land. God had called Abraham, not Lot to this new land. We have to be honest that really at this point, this land did not belong to either one of them. That’s why the Bible points out that there were other inhabitants in the land. Eventually under Joshua, the descendants of Abraham would conquer the land, but only when those people had fallen under God’s judgement for their sin. The people of Israel are told in [Deuteronomy 9:5](#) **Not because of your righteousness or the uprightness of your heart are you going in to possess their land, but because of the wickedness of these nations the Lord your God is driving them out from before you, and that he may confirm the word that the Lord swore to your fathers, to Abraham, to Isaac, and to Jacob.**

So, here is this humble action on the part of Abram and how does Lot respond? Let’s read verses 10-11. **¹⁰And Lot lifted up his eyes and saw that the Jordan Valley was well watered everywhere like the garden of the Lord, like the land of Egypt, in the direction of Zoar. (This was before the Lord destroyed Sodom and Gomorrah.) ¹¹So Lot chose for himself all the Jordan Valley, and Lot journeyed east. Thus they separated from each other.** Abram’s selfless action was met with the most selfish response on the part of Lot. Lot looked around at the land in the area and of course he noticed the best part. It’s not entirely clear where the land of Zoar is, but it is likely somewhere on the East side of the Jordan river and at that time it seems it was very lush grazing lands at that time with plenty of water and fertile land for growing. You can get some idea of what it likely looked like at that time on the [map on the screen](#). He did not even offer the first option back to his uncle or recommend that they split the best land or anything else, he simply left and moved there.

Now, there are other details here that are significant in understanding Lot’s mentality in making his decisions. Unlike his Uncle Abraham, Lot’s decisions were not based on his faith, they were based on what he thought would enrich himself, and the results would

end up being catastrophic in the long run. We get just a hint of this right away in verse 12 and 13. ¹² Abram settled in the land of Canaan, while Lot settled among the cities of the valley and moved his tent as far as Sodom. ¹³ Now the men of Sodom were wicked, great sinners against the Lord. Abram went his way, continuing to follow God's plan on this faith journey to Canaan. But Lot moved as close as he could to the most sin filled place in the area, Sodom. That is where his selfishness led him. Yes, he had the pastureland...and the room for his people and herds. But, what it cost him was his journey with God. That will become clear when God destroys the city of Sodom that he eventually moves into. Selfishness is the opposite of a journey of faith.

Living by faith meant that Abraham trusted God with his present, his future, his journey, and even his pastureland that led to his finances. Selfishness leads to decisions that are based in our own self interest and our own wisdom and strength. [Proverbs 3:5-7](#) explains that our own understanding and wisdom goes against God's best for our lives. There the Bible says, [Trust in the Lord with all your heart, and do not lean on your own understanding. 6 In all your ways acknowledge him, and he will make straight your paths. 7 Be not wise in your own eyes; fear the Lord, and turn away from evil.](#) Lot shows us why this Bible truth is important. He leaned on his own understanding...he did not acknowledge God's plan...he relied on his own human wisdom and moved toward instead of away from Evil. This is the path of selfishness. This is why we must seek God's plan and humbly seek God's plan and God's path for our lives, for our jobs, for our families.

This begins with salvation. God who is righteously and perfectly selfish for his own glory did the most unselfish act in history when he sent his own Son, Jesus Christ. Jesus who was completely God gave up some of what was rightfully his as God to become fully human and to suffer the worst death on the cross for us. The height of humility and unselfishness is Jesus himself. [Philippians 2:5-8](#) says, [5 Have this mind among yourselves, which is yours in Christ Jesus, 6 who, though he was in the form of God, did not count equality with God a thing to be grasped, 7 but emptied himself, by taking the form of a servant,\[c\] being born in the likeness of men. 8 And being found in human form, he humbled himself by becoming obedient to the point of death, even death on a cross.](#) Jesus Christ, the one who deserved the most exalted praise as God willingly humbled himself to die in our place. Now, Abraham didn't know those details, but he knew that his life, both physical and eternal depended completely on that future Messiah, and he lived out that belief by obeying and following his God.

And what did that humility in serving God get him? Look at verses 14-18.

¹⁴ The Lord said to Abram, after Lot had separated from him, "Lift up your eyes and look from the place where you are, northward and southward and eastward and westward,¹⁵ for all the land that you see I will give to you and to your offspring forever. ¹⁶ I will make your offspring as the dust of the earth, so that if one can count the dust of the earth, your offspring also can be counted. ¹⁷ Arise, walk through the length and the breadth of the land, for I will give it to you." ¹⁸ So Abram moved his tent and came and settled by the oaks^[b] of Mamre, which are at Hebron, and there he built an altar to the Lord. God tells Abraham that every part of the land, even the part he just agreed to leave in order to keep the peace with Lot would belong to his offspring forever. God is reconfirming again his covenant with Abram, and again you see the promise of a great nation, many descendants promised to this man with no children. And

once again, you see Abram obey by moving around this land God has promised, and closing where he started by worshipping.

How does Abraham's experience in this event with Lot apply to us living a journey of faith with God today? Could living out your faith mean that God wants you to allow yourself to be taken advantage of for the sake of peace and unity? I think this story of Abram shows that it is at times God's plan and can accomplish his purpose. Look what Jesus says on this same idea when he talks about how we treat others who take advantage of us. [Matthew 5:38-41](#) says, 38 "You have heard that it was said, 'An eye for an eye and a tooth for a tooth.' 39 But I say to you, Do not resist the one who is evil. But if anyone slaps you on the right cheek, turn to him the other also. 40 And if anyone would sue you and take your tunic, let him have your cloak as well. 41 And if anyone forces you to go one mile, go with him two miles. 42 Give to the one who begs from you, and do not refuse the one who would borrow from you. In fact the entire sermon on the mount, which is where this passage is from, turns our human concept of justice on its head, and gives us a heavenly ethic to live by that is very different than our natural sense of fairness and of right and wrong. You only live this way when your focus is off yourself and on your Savior. When you are looking by faith at your Creator rather than your circumstances. It will only happen when your faith impacts every part of your life. When you let all your thinking and all your decisions be defined by God and his Word rather than the college you went to, or the job you do or the culture you are from. When God is everything and you are serving him and not yourself. Let's pray.